

# 所 報 いわみざわ

第176号

岩見沢市立教育研究所

令和7年7月15日発行

Iwamizawa education Laboratory



教育研究所短信 所報「いわみざわ」第176号をお届けします。  
4月から今月までに実施済みの「年度始め授業公開」、「研修事業」、「講演のパブリックビューイング」、「連携事業（研究団体の紹介と出前授業）」、「養成事業（経営塾・養成塾・実践塾）」の実施の様子等についてお知らせします。

## 年度始め授業公開

今年度の転入教員に対し、岩見沢市が目指している「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業のイメージをもってもらうため、市内各小中学校の実践塾・養成塾等所属の授業実践者に授業公開してもらいました。

岩見沢市が目指す授業に対する理解を深め、今年度の授業づくりへの実践意欲を高めることをねらいとしています。

4月15日から30日にわたり、岩見沢小学校、南小学校、日の出小学校、幌向小学校、光陵中学校、東光中学校、緑中学校で行われ、それぞれ、個別最適な学びの実現やICTの効果的な活用などにかかわり、参観した他校の教員にとっても大いに参考となる内容であり、岩見沢市で進めている授業改善の方向性を感じることができました。

授業を公開いただいた7名の先生方に深く感謝申し上げます。



## これまで実施した研修事業

### ＜岩見沢市の教育を知る会＞

4月21日、今年度岩見沢市立小・中学校・義務教育学校へ転入した教職員・新採用教員を対象に開催しました。

吉永教育長からは、岩見沢が目指す教育づくりと、異動された先生方に期待することについて語られ、特に「一人一人の子どもたちが秘めている可能性を自ら広げる、そんな教育を具現化してほしい」ということを強く述べられました。

続いて実践発表として、「岩見沢型ピア・サポート」実践のリーディング・スクールである美園小学校の取組が紹介されました。



### ＜第1回教頭・研究担当者研究協議会＞



第1回目となる教頭・研究担当者研究協議会は、4月25日に行われました。

岩見沢が進める「学習者主体による授業づくり」に向けて当研究所5部会の研究内容を共有するとともに各学校の実態にあった授業改善、校内研究の充実を図ることを目指します。

今回の研究協議では、直近に実施された、全国学力・学習状況調査について、具体的な各教科の問題を協議することで、子どもたちに求められる力、そのための各学校の取組について考えるなどしました。

### ＜特別支援教育研修講座＞

5月29日、各学校の管理職と特別支援教育コーディネーターが参集し、空知教育局学校教育指導班 油川智史主任指導主事を講師として実施しました。

講話では、具体例を交えながら特別支援学級の学級編制の考え方や法的な位置付けをはじめ、障がいの状態等に応じた指導内容・方法、週時程と学習活動の実際、障がいの特性を考慮した教育課程の編成と実施、知的と情緒的教育課程の違い等知見を深めました。



## 著名講師の講演のパブリックビューイング

教育研究所では、昨年度から、中央の著名な講師の講演配信について、機会あるごとに各学校に視聴希望者を募り、大会議室等でのパブリックビューイングを実施しています。

6月4日（水）10：40～12：00、全教連（全国教育研究所連盟）の研究発表大会（岡山大会）における上智大学総合人間科学部教育学科教授 奈須 正裕 氏による、「令和の日本型学校教育の構築を目指して～これからの研修のカたち～」のZoom配信講演を視聴してもらいました。



奈須氏の講演では、自立した学習者の育成に向け、指導にあたって学習指導要領で示す「内容」と教科書の「教材・活動」の明確な区別をする必要があること、適切な学習環境を整え、教える教育を変えていくこと、教育方法や教員研修を見直していくことなど、たいへん示唆に富む内容であり、参加した方々からは好評でした。

## 岩見沢市教職員研究団体の登録

岩見沢市立小・中学校及び義務教育学校の教職員が会員となり、岩見沢市内で活動する研究団体のうち、会員の参加に際し、外勤（校長決裁）の扱いが必要となる団体の登録を受け付けています。

6月末現在、次の6団体の登録がなされています。

研究団体名	代表者	研究団体名	代表者
学校保健サークル	光陵中 佐藤 友理	岩見沢市特別支援教育研究会	第一小 神田 妙子
言語障害児教育研究会	中央小 明石恵美子	岩見沢市音楽教育研究会	東小 森 靖佳
岩見沢市社会科教育研究会	北真小 本間 義也	岩見沢市図工・美術科教育研究会	くりさわ学舎 富石 由華

## 北海道教育大岩見沢校並びにコンサドーレ北海道スポーツクラブとの連携による出前授業

出前授業の第一回目は、北海道教育大学岩見沢校の浅井雄輔准教授が志文小学校の5年1組に対して実施しました。

児童たちは「誰もが楽しむことができるバレーボール」になるよう、自分たちでルールを工夫するなどしてゲームを行っていました。

今後は、8月から2月にかけて、志文小の他に岩見沢小、幌向小、清園中、南小、中央小、第一小、北真小、東小、北村小で順次実施する予定です。

北海道教育大学岩見沢校と、コンサドーレ北海道スポーツクラブのご支援を受け、今回のバレーボールのほか、アダブテッド・スポーツ、音楽づくり、サッカー、器械運動などで実施します。それぞれの指導における指導技術や指導内容等の一層の理解を深めるとともに児童生徒の学習内容の深化が図られることを期待しています。



## 養成事業 第一回「三塾」の実施

今年度も6月から三塾を開催しています。次のような内容で、年間5回の実施を計画しています。

経営塾	養成塾	実践塾
対象：校長	対象：ミドルリーダー	対象：若手教諭
岩見沢市の目指す教育を具現化するための学校経営・学校運営、学校経営の実際（学校経営ビジョンの具現化等）	学校経営・学校運営に関する内容、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業づくり、若手教員への指導	授業講座・研究協議、授業公開による実践研修、実践力・指導力向上に向けた実践研修（養護教諭はケース・スタディ等）
		